

2020 年度

1 学年（第 53 期生）シラバス

秋田県歯科医療専門学校
歯科衛生士科

科目名	心理学	
担当講師	半田 温子	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	2 単位	1 学年 後期
時間		
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 心理学	
参考書		
一般目標 GIO	人間理解の基盤となる、心理学における基礎的概念を習得する。	
行動目標 SBOs	・学習や記憶の構造、発達の過程について説明できる。 ・日常生活や臨床場面でみられる現象や行動を、適切な心理学的概念と関連づけて考えることができる。 ・防衛機制やストレス理論およびパーソナリティ理論等を自己理解・他者理解に応用できる。	
評価 EV	定期試験80% 出席・参加状況20%	

担当講師より：

出席・参加状況は出席カードの提出、記述内容を中心に評価します。出席カードに頂いた質問は、次回講義の際に回答します。

時間	担当者	講義・実習項目
1	半田	見る・聞く・感じるころ① 知覚成立の基礎
2	半田	見る・聞く・感じるころ② 知覚の体制化と諸相
3	半田	学ぶ・覚えるころ① 学習のプロセス
4	半田	学ぶ・覚えるころ② 記憶のメカニズム
5	半田	やる気の心理① 動機づけ
6	半田	やる気の心理② 欲求
7	半田	喜怒哀楽のころ① 感情とフラストレーション
8	半田	喜怒哀楽のころ② 防衛機制
9	半田	喜怒哀楽のころ③ ストレス
10	半田	その人らしさの心理① パーソナリティの記述

科目名 心理学

時間	担当者	講義・実習項目
11	半田	その人らしさの心理② パーソナリティの調べ方
12	半田	かしこさの心理① 知能の定義と測定
13	半田	かしこさの心理② 認知症
14	半田	考えるところ① 思考
15	半田	考えるところ② 問題解決と創造性
16	半田	発達するところ① 「発達」を考える 発達課題
17	半田	発達するところ② 乳幼児期～児童期
18	半田	発達するところ③ 青年期
19	半田	発達するところ④ 成人期～高齢期
20	半田	人と関わる心理① 対人認知
21	半田	人と関わる心理② 帰属理論 対人魅力
22	半田	人と集うところ① 集団の心理
23	半田	人と集うところ② リーダーシップ 社会的影響
24	半田	健康なところ① メンタルヘルス
25	半田	健康なところ② 心理臨床と心理療法
26	半田	カウンセリングのところ① カウンセリングとは
27	半田	カウンセリングのところ② ロジャーズ理論
28	半田	カウンセリングのところ③ 心理的援助と介入
29	半田	思いを伝え合うところ① 医療コミュニケーションの基礎
30	半田	思いを伝え合うところ② コミュニケーション・スキル

科目名	社会学	
担当講師	仙波 昭彦	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	2 単位	1 学年 後期
時間		
教科書	有斐閣新書 社会学入門（新版）	
参考書		
一般目標 GIO	現代の社会の現実を客観的に捉えようとする態度を習得し、社会の変動の動向を考察しながら、人びとの幸せにつながる社会の在り方や自分の生き方を探求する。	
行動目標 SBOs	・社会事象を自分の側に引き付け、よく考え、自分の意見や感想を表現できるようにしよう。 ・さまざまな統計資料や新聞資料等が掲示されるので、それらの情報資料から、それぞれのもつ意味を読み取る。	
評価 EV	・定期試験の結果による。ただし、自作ノートの評価を参考にする。	

担当講師より：自分の理解に役立つノートを工夫し、きちんとノートをつくること。よく聴講することは言うまでもありません。「倫理学」のノートを続けて使います。合わせて評価の対象にします。

時間	担当者	講義・実習項目
1	仙波	〔はじめに〕〔社会学入門〕社会学とはどういう学問か
2	仙波	社会学の成立の背景
3	仙波	近代ヨーロッパに大きな影響を与えた著作物
4	仙波	社会学の展開
5	仙波	社会学の展開
6	仙波	社会学の展開
7	仙波	〔家族を考える〕家族の機能、家族への期待
8	仙波	制度としての家族、家族の変容
9	仙波	ジェンダー、フェミニズム性的少数者について
10	仙波	ラベリング理論

時間	担当者	講義・実習項目
11	仙波	現代日本の家族の変容～小家族化
12	仙波	少子化と超高齢社会
13	仙波	家族のライフサイクル、ライフステージ、ライフコース
14	仙波	働く女性とその社会的環境
15	仙波	コミュニティ、都市の変化
16	仙波	社会集団の分類
17	仙波	ネットワーキング、社会運動、ボランティア活動
18	仙波	組織と管理、職場
19	仙波	組織・集団のなかの人間関係
20	仙波	グローバリズム、新自由主義
21	仙波	職場と法
22	仙波	〔社会変動のなかの現代〕近代化とは何か
23	仙波	情報社会、その特質
24	仙波	電子メディアの進化と現代社会
25	仙波	社会問題、社会の病理を考える
26	仙波	社会調査の基礎知識
27	仙波	日本人の国民性についての調査と関連する著作
28	仙波	生活の質的な豊かさを考える
29	仙波	環境問題、エネルギー問題の重要性、SDGSについて考える
30	仙波	現代社会の課題は何か、考えてみよう

科目名	生物学	
担当講師	川野辺 英昭	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	2 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	南山堂 「ZEROからの生命科学」	
参考書		
一般目標 GIO	生命現象の基礎を細胞および分子レベルで理解する。	
行動目標 SBOs	・細胞膜や細胞小器官の機能を構造や起源と関連づけて説明できる。 ・タンパク質の働きを構造と関連づけて説明できる。 ・細胞のエネルギー獲得のしくみを説明できる。 ・DNAの複製および細胞分裂のしくみを述べることができる。 ・DNAからタンパク質への情報の流れに基づきタンパク合成を説明できる。	
評価 EV	期末試験により評価	

担当講師より授業は教科書とプリントをもとに行う。
プリントに出題されている問題は解答できるようにすること。質問は歓迎。質問することで知識を確実なものにしよう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	川野辺	生物界（1）生物とは
2	川野辺	（2）生物界の構成
3	川野辺	（3）細胞の多様性
4	川野辺	（4）細胞の共通性
5	川野辺	細胞の構造（1）水分子の構造（水素結合・親水性・疎水性）
6	川野辺	（2）細胞膜の構造と性質
7	川野辺	（3）細胞小器官の働きと相互作用（タンパク質の輸送）
8	川野辺	（4）二枚の膜を持つ細胞小器官の起源と機能
9	川野辺	タンパク質（1）アミノ酸・ペプチド結合・タンパク質の構造
10	川野辺	（2）タンパク質の多様性 a) 酵素

科目名 生物学

時間	担当者	講義・実習項目
11	川野辺	b) 輸送タンパク質
12	川野辺	c) 構造タンパク質
13	川野辺	細胞のエネルギー代謝 (1) 解糖系とTCAサイクル
14	川野辺	(2) 電子伝達系
15	川野辺	(3) プロトン駆動力とATP合成酵素
16	川野辺	細胞の増殖 (1) 細胞周期
17	川野辺	(2) DNAの複製
18	川野辺	(3) 有糸分裂のしくみ
19	川野辺	個体の増殖 (1) 減数分裂
20	川野辺	(2) 有性生殖
21	川野辺	遺伝現象 (1) メンデルの研究
22	川野辺	(2) 遺伝学の進歩
23	川野辺	遺伝子の働き (1) 転写 その1
24	川野辺	(2) 転写 その2
25	川野辺	(3) 翻訳 その1
26	川野辺	(4) 翻訳 その2
27	川野辺	(5) 原核細胞と真核細胞の違い
28	川野辺	遺伝子の調節 (1) 大腸菌の乳酸利用と誘導現象
29	川野辺	(2) ラクトースオペロン
30	川野辺	(3) 真核生物の転写調節

科目名	化 学	
担当講師	岩田 朗子	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	2 単位	1 学年 前期
時間		
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 化学	
参考書		
一般目標 GIO	医療の現場で取り扱う種々の歯科材料について正しく理解するために、化学の基礎知識を習得する	
行動目標 SBOs	・物質の成り立ちについて、原子の構造をもとに説明できる。 ・混合気体や水溶液中の物質の濃度を計算することができる。 ・酸塩基反応、酸化還元反応について説明することができる。 ・有機化合物について、その性質を化学構造をもとに説明できる。	
評価 EV	定期試験 100 %	

担当講師より物質の基本的性質を理解するための科目です。

様々な物質を安全に正しく取り扱うことができるよう、
きちんと学んでおきましょう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	岩田	原子の構造と元素、元素記号
2	岩田	原子の電子配置
3	岩田	イオンの生成
4	岩田	共有結合の形成
5	岩田	共有結合と分子
6	岩田	分子の極性と分子間力
7	岩田	共有結合による巨大な結晶
8	岩田	金属結合
9	岩田	イオンとイオン結合
10	岩田	イオン結合の物質

科目名 化学

時間	担当者	講義・実習項目
11	岩田	原子量
12	岩田	分子量・式量
13	岩田	物質量
14	岩田	物質量の計算
15	岩田	気体の性質
16	岩田	大気中の気体成分
17	岩田	単位の変換
18	岩田	濃度の表し方
19	岩田	パーセント濃度、ppm濃度
20	岩田	モル濃度
21	岩田	酸・塩基の性質
22	岩田	水素イオン濃度とpH
23	岩田	酸と塩基の反応
24	岩田	緩衝作用
25	岩田	酸化還元反応と酸化剤・還元剤
26	岩田	金属のイオン化傾向
27	岩田	有機化合物の特徴
28	岩田	有機化合物の構造
29	岩田	有機化合物の名称
30	岩田	有機化合物の性質

科目名		英 語	
担当講師		高橋 久美子	
授業時間		単位数	履修時期
30 時間		2 単位	1 学年 後期
時間			国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科英語		
参考書			
一般目標 GIO	外国人の患者さんと様々な臨床場面で、英語を使って意思疎通できる。		
行動目標 SBOs	・ 歯科英語の基本的な語・句の意味を理解し、正しく発音することができる。 ・ まとまった文を読んで、その内容を正しく把握できる。 ・ 対話文の内容を理解し、自然な調子で発話したり、ペアワークができる。		
評価 EV	定期試験 80% + 平常点 20%		

担当講師より：英語でのコミュニケーションが必要とされる場面に適応できる基礎力を持った人材に育ってほしいと思います。

時間	担当者	講義・実習項目
1	高橋	学習方法について Les.1 Making an Appointment by Telephone
2	高橋	Les.1 Making an Appointment by Telephone English for Traveling Abroad (1)
3	高橋	Les.2 Requests for Medicine
4	高橋	Les.2 Requests for Medicine English for Traveling Abroad (2)
5	高橋	Les.3 Emergency Appointments
6	高橋	Les.3 Emergency Appointments English for Traveling Abroad (3)
7	高橋	Les.4 National Health Insurance
8	高橋	Les.4 National Health Insurance English for Traveling Abroad (4)
9	高橋	Les.5 Asking the Patients to Describe Symptoms
10	高橋	Les.5 Asking the Patients to Describe Symptoms English for Traveling Abroad (5) / まとめのプリント 1

科目名 英語

時間	担当者	講義・実習項目
11	高橋	Les.6 Asking the Medical History
12	高橋	Les.6 Asking the Medical History English for Traveling Abroad (6)
13	高橋	Les.7 Periodontal Disease(Part I)
14	高橋	Les.7 Periodontal Disease(Part I) English for Traveling Abroad (7)
15	高橋	Les.7 Periodontal Disease(Part II)
16	高橋	Les.7 Periodontal Disease(Part II) English for Traveling Abroad (8)
17	高橋	Les.8 Pregnancy
18	高橋	Les.8 Pregnancy / English for Traveling Abroad (9)
19	高橋	Les.9 Why Do I Need a Cleaning?
20	高橋	Les.9 Why Do I Need a Cleaning? English for Traveling Abroad (10) / まとめのプリント2
21	高橋	Les.10 Informed Consent (Part I)
22	高橋	Les.10 Informed Consent (Part I) English for Traveling Abroad (11)
23	高橋	Les.10 Informed Consent (Part II)
24	高橋	Les.10 Informed Consent (Part II) English for Traveling Abroad (12)
25	高橋	Les.13 Tooth Brushing Instructions for a Child
26	高橋	Les.13 Tooth Brushing Instructions for a Child English for Traveling Abroad (13)
27	高橋	Les.14 Tooth Brushing Instructions for an Adult
28	高橋	Les.14 Tooth Brushing Instructions for an Adult English for Traveling Abroad (14)
29	高橋	Les.17 Visit to an American Dental Clinic
30	高橋	まとめのプリント3 1年間の復習

科目名	倫理学	
担当講師	仙波 昭彦	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		
教科書	プリント	
参考書		
一般目標 GIO	歯科衛生士法の基に歯科医療倫理に関する知識・技術を習得する。	
行動目標 SBOs	・人間とは何か、現代社会とは何かについての基本概念を説明できる。 ・医療倫理の歴史的変遷をたどることができる。 ・歯科衛生士としての心構え、大切なことを述べることができる。 ・インフォームドコンセント、QOL、行動科学の基本概念を説明できる。 ・コミュニケーションの種類と技術を知り、応用でき	
評価 EV	教師の発問に対する答(50%)、授業態度(50%)	

担当講師より：歯科衛生士として現場に臨んだ場合、種々の課題に適切に対処できるよう、自分の考えを深めて欲しい。授業用ノートを一冊用意して下さい。後期の社会学でも使います。

時間	担当者	講義・実習項目
1	仙波	オリエンテーション（受講の心構え、倫理と歯科衛生士）
2	仙波	口腔、歯、食べることの意味について考え、その重要性を理解する
3	仙波	人間とは何かについてプリントを読んで考える
4	仙波	〃
5	仙波	〃
6	仙波	〃
7	仙波	現代社会の特色について考える
8	仙波	〃
9	仙波	伝統的な医の倫理と新しい医の倫理について考える
10	仙波	安楽死の定義と諸問題について考える

科目名**倫理学**

時間	担当者	講義・実習項目
11	仙波	「日本歯科医師倫理規定」「歯科衛生士憲章」を理解する
12	仙波	歯科医療現場における人間関係について理解する
13	仙波	インフォームドコンセント、QOLについて理解する
14	仙波	行動特性、健康と病気について考える
15	仙波	チームアプローチ、コミュニケーション技術を学ぶ

科目名	解剖学	
担当講師	吉川 究	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	2 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
参考書		
一般目標 GIO	人体の構造を理解する。	
行動目標 SBOs	人体を構成する様々な細胞・組織・臓器・器官系の構造と機能を説明することができる。	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：解剖学を勉強することは自分自身の身体の仕組みを知ることです。覚えること（暗記）が多く大変かもしれませんが、「理解」すれば無理なく覚えられます。

時間	担当者	講義・実習項目
1	吉川	人体を構成する様々な細胞
2	吉川	人体を構成する様々な組織
3	吉川	骨・軟骨の組織構造
4	吉川	骨の形状・連結・発生
5	吉川	全身の骨
6	吉川	筋の組織構造
7	吉川	全身の筋肉
8	吉川	頭頸部の筋骨格系
9	吉川	神経系の全体像と組織構造
10	吉川	中枢神経系：脳

科目名 解剖学

時間	担当者	講義・実習項目
11	吉川	中枢神経系：脊髄
12	吉川	末梢神経系：脳神経
13	吉川	末梢神経系：脊髄神経
14	吉川	末梢神経系：自律神経
15	吉川	循環器系の全体像と組織構造
16	吉川	心臓、動脈系
17	吉川	静脈系、リンパ系
18	吉川	頭頸部の脈管系
19	吉川	消化器系の全体像と組織構造
20	吉川	消化管
21	吉川	肝臓
22	吉川	膵臓
23	吉川	呼吸器系
24	吉川	泌尿器系
25	吉川	生殖器系：女性生殖器
26	吉川	生殖器系：男性生殖器
27	吉川	内分泌器官
28	吉川	内分泌器官
29	吉川	感覚器
30	吉川	外皮

科目名	組織・発生学	
担当講師	今井 克幸	
授業時間	単位数	履修時期
20 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学	
参考書	西村書店「カラーエッセンシャル口腔組織・発生学」	
一般目標 GIO	1:人体の機能系、器官、組織、細胞、分子の階層性を理解する。 2:細胞と細胞外マトリックスの相互関係を理解する。 3:人体、とくに頭部と歯の発生を理解する。 4:歯の微細構造を、細胞および分子レベルで理解する。	
行動目標 SBOs	1:細胞の機能を分子レベル（ナノメートルの世界）で説明できる。 2:「細胞外マトリックス」の働きを説明できる。 3:人体の発生および歯の発生を説明できる。 4:歯の微細構造を細胞、分子レベルで説明できる。	
評価 EV	定期試験とレポート提出で判定する。	

担当講師より：「解剖学」「細胞学＝分子細胞生物学」は楽しいをテーマにポイントを押さえて簡潔にやさしく講義します。図イメージを重視した講義をします。ノートに図を書いて憶えて下さい。記憶するためには反復＝復習をして下さい。医学は文科系の学問です、医学用語の定義を理解して下さい。

時間	担当者	講義・実習項目
1	今井	第1章：人体の階層性：分子、細胞、組織、器官、機能系
2	今井	細胞の構造：核、細胞内小器官、リボソーム
3	今井	組織：上皮細胞、結合組織、細胞外マトリックス
4	今井	第2章：人体発生学：胚子の発達分化、胚葉分化
5	今井	胎児発生、染色体異常、遺伝子異常、奇形
6	今井	顔面発生、口腔の発生、腮弓器官
7	今井	歯胚発生学：帽状期・鐘状期の歯胚
8	今井	エナメル質および象牙質の形成
9	今井	歯根膜におけるコラーゲン線維の重要性
10	今井	第3章：口腔組織：エナメル質の微細構造、エナメル小柱

時間	担当者	講義・実習項目
11	今井	エナメル質の組織：成長線、レチウス条、シュレーゲル条
12	今井	エナメル質の組織：周波条、エナメル紡錘
13	今井	象牙質の微細構造、象牙芽細胞、象牙線維、象牙細管
14	今井	象牙質の成長：オーエン外形線、アンドレーゼン線
15	今井	象牙質の石灰化、象牙細管の臨床的意義
16	今井	齶歯、第二象牙質、透明象牙質
17	今井	歯髄の組織構造、歯髄腔の臨床的意義
18	今井	セメント質の微細構造
19	今井	歯根膜の組織構造：歯槽骨、歯根膜の臨床的意義
20	今井	歯肉の組織構造：歯肉の臨床的意義、加齢的推移

科目名	口腔解剖学	
担当講師	教務部長 大淵 義孝	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	2 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
参考書	クインテッセンス出版 グラフィックスフェイス 臨床解剖図譜	
一般目標 GIO	歯科衛生士としての行動の基となる口腔及び口腔周囲の構造、しくみを習得する。	
行動目標 SBOs	・ 患者の質問に的確なアドバイスを与えることができる。 ・ 各診療補助、介助に適切に対応できる。	
評価 EV	定期試験・講義内テスト	

担当講師より：「知るは楽しみなり」楽しみましょう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	大淵	口腔の構造と機能
2	大淵	歯肉の構造
3	大淵	口腔周囲
4	大淵	頭蓋を構成する骨
5	大淵	口唇・頬
6	大淵	口腔前庭・固有口腔
7	大淵	咽頭
8	大淵	舌①
9	大淵	舌②
10	大淵	唾液腺

時間	担当者	講義・実習項目
11	大淵	頭蓋骨①
12	大淵	頭蓋骨②
13	大淵	上顎骨
14	大淵	下顎骨
15	大淵	顎関節
16	大淵	表情筋
17	大淵	咀嚼筋
18	大淵	舌骨上・下筋群
19	大淵	翼突下顎隙
20	大淵	総頸動脈
21	大淵	外頸動脈①
22	大淵	外頸動脈②
23	大淵	静脈・リンパ系
24	大淵	脳神経①
25	大淵	脳神経②
26	大淵	脳神経③
27	大淵	自律神経
28	大淵	まとめ①
29	大淵	まとめ②
30	大淵	まとめ③

科目名	歯牙解剖学	
担当講師	鈴木 克典	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
参考書		
一般目標 GIO	歯科衛生士法を基に歯の解剖に関する知識を理解する。	
行動目標 SBOs	・ 歯の定義、起源、種類、名称などを述べることができる。 ・ 永久歯、乳歯の形態学的特徴を述べることができる。 ・ 歯の配列と咬合に関して述べることができる。 ・ 異常歯の定義、要因に関して述べることができる。	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：基礎をしっかりと学び、臨床実習に臨んで欲しい。

時間	担当者	講義・実習項目
1	鈴木	歯の概論。①歯の定義、起源、種類、名称に関して
2	鈴木	歯の概論。②歯の記号、用語、形態、歯式に関して
3	鈴木	永久歯の形態学的特徴に関して①
4	鈴木	永久歯の形態学的特徴に関して②
5	鈴木	永久歯の形態学的特徴に関して③
6	鈴木	永久歯の形態学的特徴に関して④
7	鈴木	永久歯の形態学的特徴に関して⑤
8	鈴木	永久歯の形態学的特徴に関して⑥
9	鈴木	乳歯の形態学的特徴に関して①
10	鈴木	乳歯の形態学的特徴に関して②

時間	担当者	講義・実習項目
11	鈴木	乳歯の形態学的特徴に関して③
12	鈴木	乳歯の形態学的特徴に関して④
13	鈴木	歯の配列と咬合に関して①
14	鈴木	歯の配列と咬合に関して②
15	鈴木	異常歯に関して

科目名	歯型彫刻・スケッチ	
担当講師	専任教員 菅原由紀子・石塚美波子	
授業時間	単位数	履修時期
18 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
参考書		
一般目標 GIO	◎歯の特徴、名称、形態を理解する。	
行動目標 SBOs	・ 歯のもつ三次元的な特徴を二次元の平面上に外形を描き、各部の名称とそれらの特徴を述べることができる。 ・ 歯の立体像を製作し、歯のもつ形態を再現し、特徴と関連づける。	
評価 EV	提出物 100%	

時間	担当者	講義・実習項目
1	菅原 石塚	歯式、歯の名称及び方向用語、歯の記号
2	菅原 石塚	21・スケッチブックの書き方
3	菅原 石塚	21
4	菅原 石塚	3・3
5	菅原 石塚	54
6	菅原 石塚	54
7	菅原 石塚	小テスト
8	菅原 石塚	76・76
9	菅原 石塚	石膏棒の説明、十字作成
10	菅原 石塚	U字作成

科目名 歯型彫刻・スケッチ

時間	担当者	講義・実習項目
11	菅原 石塚	石膏棒 <u>1</u> の説明・作製
12	菅原 石塚	石膏棒 <u>1</u> の作製
13	菅原 石塚	石膏棒 <u>3</u> の説明・作製
14	菅原 石塚	石膏棒 <u>3</u> の作製
15	菅原 石塚	石膏棒 <u>3</u> の作製
16	菅原 石塚	石膏棒 <u>6</u> の説明
17	菅原 石塚	石膏棒 <u>6</u> の作製
18	菅原 石塚	石膏棒 <u>6</u> の作製

科目名	生理学	
担当講師	船木 聖己	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 新歯科衛生士教本 生理学 医学書院 イラストで学ぶ生理学 第3版	
参考書	金原出版 解剖生理学	
一般目標 GIO	歯科衛生士法の基に人体生理の概要に関する知識を習得する。	
行動目標 SBOs	・生理学の定義を述べることができる。 ・生命現象とはなにかを述べることができる。 ・ホメオスタシス(生体の恒常性)が説明できる。 ・生理学を学ぶことはなぜ必要か述べることができる。	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：毎時間小テストします。定期試験の結果次第で小テストと受講態度も評価対象にします。

時間	担当者	講義・実習項目
1	船木	生理学を学ぶことの大切さについて
2	船木	細胞について
3	船木	血液について
4	船木	生理学について・視聴覚(ビデオ)を利用して
5	船木	循環について
6	船木	呼吸について
7	船木	筋について
8	船木	感覚について
9	船木	神経について1 神経の基礎的機能について
10	船木	神経について2 自律神経・中枢神経について

時間	担当者	講義・実習項目
11	船木	消化と吸収について
12	船木	排泄について
13	船木	体温について
14	船木	内分泌について
15	船木	生殖について

科目名	口腔生理学	
担当講師	三嶋 理穂	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
参考書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝	
一般目標 GIO	多様な働きを有する口腔機能を理解する。	
行動目標 SBOs	・口腔生理学がなぜ必要かを述べることができる。 ・歯と歯周組織の生理と機能を述べることができる。 ・咬合について理解し、機能を述べることができる。 ・口腔の感覚などについて理解し、働きを述べることができる。	
評価 EV	定期試験と授業に臨む姿勢	

担当講師より：臨床科目を理解するには、正常な状態・機能をしっかり理解しておくことが大切です。歯科衛生士として役に立つ知識を身につけてもらいたいのでしっかり勉強しましょう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	三嶋	口腔生理とは？ 歯・口腔の機能について
2	三嶋	歯と口腔の感覚 3 章
3	三嶋	味覚 4 章
4	三嶋	味覚と嗅覚 4 章
5	三嶋	咬合 5 章
6	三嶋	咬合と咀嚼・吸啜 5 章
7	三嶋	嚥下 6 章
8	三嶋	嚥下と嘔吐 6 章
9	三嶋	発声 7 章
10	三嶋	発声 7 章

科目名 口腔生理学

時間	担当者	講義・実習項目
11	三嶋	唾液 8章
12	三嶋	唾液 8章
13	三嶋	まとめと補足
14	三嶋	まとめと補足
15	三嶋	まとめと補足

科目名	病理学	
担当講師	田口 歩美	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学	
参考書		
一般目標 GIO	・病気のしくみ（発生や原因、経過）や見分け方について学び、病気の本質を理解する。	
行動目標 SBOs	・病理学の概念と検査方法を説明できる。 ・疾病の原因である病因と疾病の成り立ちを説明できる。 ・遺伝子の働きと遺伝性疾患を説明できる。 ・細胞障害および細胞死の成因と、それによる細胞や組織の変化を説明できる。 ・細胞増殖の機構とその異常を説明できる。 ・循環障害の成因と病態を説明できる。 ・炎症の概念と組織の治癒過程を説明できる。 ・免疫応答とその異常を説明できる。 ・腫瘍の定義とその特徴や病態を説明できる。	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：積極的に質問をしてください。

時間	担当者	講義・実習項目
1	田口	病理学とは
2	田口	〃
3	田口	病因論 / 遺伝性疾患
4	田口	退行性病変
5	田口	進行性病変
6	田口	〃
7	田口	代謝障害
8	田口	循環障害
9	田口	〃
10	田口	炎症

時間	担当者	講義・実習項目
11	田口	炎症
12	田口	免疫応答異常
13	田口	腫瘍
14	田口	”
15	田口	国家試験問題に挑戦！

科目名	口腔病理学	
担当講師	齊藤 桂	
授業時間	単位数	履修時期
20 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝	
参考書		
一般目標 GIO	顎口腔領域の病変について正しい知識を修得する。 個々の病変については、基礎科目・臨床科目を関連づけて理解する。	
行動目標 SBOs	①健康および病気について、口腔と全身の関連性を述べることができる。 ②歯科疾患・歯科治療の特徴を述べることができる。 ③歯の付着物・沈着物、生活習慣、過剰な力が引き起こす病変を整理して述べる ことができる。 ④う蝕、歯周病、発育異常、その他の病変について、原因・症状・予後を簡 単に述べることができる。	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：必ず予習をして授業に臨んで下さい(講義内容に相当する教科書を1～2回読む、等)。受講態度も評価の対象とします。講義中の私語は慎んで下さい。

時間	担当者	講義・実習項目
1	齊藤	口腔病理学概論(健康と病気、病因論、歯科疾患の特徴、歯科医療とは?)
2	齊藤	歯の発育異常
3	齊藤	歯の損傷(外傷、酸蝕症、ブラキシズム)
4	齊藤	歯の付着物・沈着物、着色・変色
5	齊藤	むし歯とは?
6	齊藤	プラークの生化学とう蝕学
7	齊藤	歯の発生学、象牙質歯髄複合体の病態
8	齊藤	根尖性歯周炎、う蝕の継発症
9	齊藤	歯周病学(基礎編)
10	齊藤	歯周病の生化学

時間	担当者	講義・実習項目
11	齊藤	歯周病学(臨床編)
12	齊藤	歯周医学
13	齊藤	エプーリス
14	齊藤	口腔粘膜疾患
15	齊藤	腫瘍
16	齊藤	口腔癌と前癌病変
17	齊藤	顎顔面口腔の発育異常、嚢胞
18	齊藤	顎骨病変
19	齊藤	唾液腺疾患、神経疾患
20	齊藤	治癒の病理、口腔組織の加齢変化

科目名	微生物学	
担当講師	佐藤 直大	佐々木 達哉
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学	
参考書		
一般目標 GIO	感染症、感染予防、免疫メカニズム、アレルギー疾患等の理解を深める。	
行動目標 SBOs	・ 原虫・真菌・細菌ウィルス・プリオンについて其の内容を、説明できる。 ・ 微生物の培養法、観察法、感染症状とその経路を述べる事ができる。 ・ 耐性菌による院内感染の特徴を説明できる。	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：新しい単語を、覚えやすいように、何度も口ずさむこと。

時間	担当者	講義・実習項目
1	佐藤	疾病と微生物・免疫学。感染と感染症
2	佐藤	微生物の位置づけ。細菌の性状・形態、構造
3	佐藤	微生物の位置づけ。代謝・病原因子
4	佐藤	グラム陽性球菌について
5	佐藤	グラム陽性桿菌、グラム陰性球菌について
6	佐藤	グラム陰性桿菌
7	佐藤	マイコプラズマ属、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、その他の微生物（真菌・原虫）
8	佐々木	ウィルス 性状
9	佐々木	歯科に関連するウィルスとウィルス感染症。ヘルペスウィルス
10	佐々木	ピコルナウィルス、パラミクソウィルス、風疹ウィルス、インフルエンザウィルス

時間	担当者	講義・実習項目
11	佐々木	レトロウィルス、肝炎ウィルス
12	佐々木	宿主防御機能について
13	佐々木	免疫機構について
14	佐々木	液性免疫、細胞性免疫について
15	佐々木	アレルギー 他

科目名	口腔微生物学	
担当講師	武田 瞬	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学	
参考書		
一般目標 GIO	口腔内外の病原微生物・感染症、生体防御および 歯科臨床における標準予防策を理解する。	
行動目標 SBOs	・病原微生物の性状と感染症の成立ちについて説明できる。 ・齲蝕、歯周病、口腔感染症について説明できる。 ・予防処置や保健指導に必要な微生物の特徴を列挙できる。 ・基本的な消毒・滅菌法、院内感染対策を実践できる。	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：微生物学は予防処置、保健指導、診療補助のいずれにおいても必須の項目です。

将来のために基礎をしっかりと習得しましょう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	武田	口腔微生物学・総論
2	武田	口腔・常在微生物①
3	武田	口腔・常在微生物②
4	武田	齲蝕症①
5	武田	齲蝕症②
6	武田	歯周病①
7	武田	歯周病②
8	武田	歯周病③
9	武田	口腔領域の感染症①
10	武田	口腔領域の感染症②

科目名 口腔微生物学

時間	担当者	講義・実習項目
11	武田	化学療法①
12	武田	化学療法②
13	武田	院内感染対策と滅菌・消毒①
14	武田	院内感染対策と滅菌・消毒②
15	武田	歯科臨床と口腔微生物

科目名	薬理学	
担当講師	五十嵐 常仁	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 第2版	
参考書		
一般目標 GIO	薬物と生体との関わりを総論・各論を通じて学び、理解する。	
行動目標 SBOs	・薬理作用と薬物の作用機序を理解する。 ・生体の諸器官に作用する薬物について理解する。	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	五十嵐	薬物の作用
2	五十嵐	薬物動態
3	五十嵐	薬物の適用方法の種類と特徴
4	五十嵐	薬物の作用に影響を与える要因
5	五十嵐	薬物の副作用、有害作用
6	五十嵐	薬物の取扱い、薬物と法律・薬物と医薬品
7	五十嵐	ビタミンとホルモン
8	五十嵐	末梢神経系に作用する薬物
9	五十嵐	中枢神経系に作用する薬物
10	五十嵐	中枢神経系に作用する薬物

時間	担当者	講義・実習項目
11	五十嵐	循環器系・腎臓に作用する薬物
12	五十嵐	循環器系・腎臓に作用する薬物
13	五十嵐	呼吸器系・消化器系に作用する薬物
14	五十嵐	呼吸器系・消化器系に作用する薬物
15	五十嵐	免疫と薬

科目名	歯科薬理学	
担当講師	逸見 健明	平塚 新
授業時間	単位数	履修時期
1 5 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 第2版
参考書	
一般目標 GIO	全身に作用する薬物と歯科で使用する薬物との関連を理解する。
行動目標 SBOs	・抗炎症等、病原微生物に作用する薬物について理解する。
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	逸見	代謝性疾患治療薬①
2	逸見	代謝性疾患治療薬②
3	逸見	炎症と薬
4	逸見	痛みと薬
5	逸見	局所麻酔薬
6	逸見	抗感染症薬
7	逸見	消毒薬
8	逸見	漢方医学と薬
9	逸見	まとめ

科目名 歯科薬理学

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学	
参考書		
一般目標 GIO	歯科薬理学的な特徴を理解し、活用できる。	
行動目標 SBOs	・ 歯科疾患の回復を促進する薬について深く理解し、臨床に役立てることができる。 ・ 悪性腫瘍について定義を理解し、薬との関係を説明できる。	
評価 EV	定期試験	100%
担当講師より：		
時間	担当者	講義・実習項目
1	平塚	歯・歯髄疾患と薬
2	平塚	”
3	平塚	”
4	平塚	歯周疾患・顎・口腔粘膜疾患と薬
5	平塚	悪性腫瘍と薬
6	平塚	服薬指導

科目名	口腔衛生学 I	
担当講師	大谷 真紀 奈良 宏周	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	1 単位	1 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 保健生態学	
参考書	学建書院 改訂 歯ブラシ事典 学建書院 オーラルヘルスケア事典	
一般目標 GIO	歯科疾患の病態および発症機序を理解し、その予防に関する知識を習得する。	
行動目標 SBOs	歯・口腔の付着物，沈着物について説明できる。 口腔清掃の意義，器具，方法について説明できる。 歯周疾患の分類，発生機序，リスクファクター，予防法について説明できる。 う蝕・歯周疾患を除く歯科疾患の疫学・要因・予防について概説できる。	
評価 EV	定期試験 95%，課題 5%	

担当講師より：自分で調べたり，書いたり，説明してもらう機会を多く作る予定です。課題が多くて大変だと思いますが，評価に加えますので，最後までがんばってください。

時間	担当者	講義・実習項目
1	大谷	歯・口腔の付着物・沈着物
2	大谷	歯・口腔の付着物・沈着物
3	大谷	口腔清掃
4	大谷	口腔清掃
5	大谷	口腔清掃
6	大谷	口腔清掃
7	大谷	歯周疾患の疫学・歯周疾患の予防
8	大谷	歯周疾患の疫学・歯周疾患の予防
9	大谷	歯周疾患の予防
10	大谷	歯周疾患の予防

科目名 口腔衛生学 I

時間	担当者	講義・実習項目
11	大谷	その他の疫学, その他の疾患・異常の予防
12	大谷	その他の疫学, その他の疾患・異常の予防
13	大谷	まとめと演習
14	大谷	まとめと演習
15	大谷	まとめと演習

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 保健生態学
参考書	学建書院 改訂 歯ブラシ事典 学建書院 オーラルヘルスケア事典 医歯薬出版 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法
一般目標 GIO	歯科疾患の病態および発症機序を理解し, その予防に関する知識を習得する。
行動目標 SBOs	歯・口腔の付着物, 沈着物について説明できる。 口腔清掃の意義, 器具, 方法について説明できる。 歯科疾患の疫学的特性を概説できる。 う蝕の発生機序, 要因, 予防法について説明できる。 フッ化物の特徴・う蝕予防への応用について説明できる。 歯周疾患の分類, 発生機序, リスクファクター, 予防法について説明できる。 う蝕・歯周疾患を除く歯科疾患の疫学・要因・予防について概説できる。
評価 EV	定期試験 95%, 課題 5%

1	奈良	う蝕の疫学, う蝕の予防
2	奈良	う蝕の疫学, う蝕の予防
3	奈良	う蝕の予防
4	奈良	う蝕の予防
5	奈良	う蝕の予防
6	奈良	う蝕の予防
7	奈良	フッ化物によるう蝕予防
8	奈良	フッ化物によるう蝕予防

科目名 口腔衛生学 I

9	奈良	フッ化物によるう蝕予防
10	奈良	フッ化物によるう蝕予防
11	奈良	フッ化物によるう蝕予防
12	奈良	フッ化物によるう蝕予防
13	奈良	フッ化物によるう蝕予防
14	奈良	フッ化物によるう蝕予防
15	奈良	フッ化物によるう蝕予防

科目名	歯科衛生士概論	
担当講師	川村 孝子	甫仮 貴子
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	2 単位	1 学年 前後期
時間		国家試験対策補習講義

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論
参考書	
一般目標 GIO	歯科衛生士としての基本的な心構えや仕事の内容を理解し社会人としての常識を習得する。
行動目標 SBOs	・ 歯科衛生学の定義を述べることができる。 ・ 歯科衛生士法で定める歯科衛生士の業務を正しく理解し、述べることができる。 ・ 社会人としての心構えを正しく理解し、述べるができる。
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：

書いた文章は必ず読み直すようにしましょう。
「千里の行も一歩より起こる」日々の講義を大切に。

時間	担当者	講義・実習項目
1	川村	歯科衛生学とは
2	川村	歯科衛生学とは
3	甫仮	歯科衛生の歴史
4	甫仮	歯科衛生の歴史
5	川村	歯科衛生活動のための理論
6	川村	歯科衛生活動のための理論
7	甫仮	歯科衛生過程
8	甫仮	歯科衛生過程
9	川村	歯科衛生士法と歯科衛生業務
10	川村	歯科衛生士法と歯科衛生業務

科目名 歯科衛生士概論

時間	担当者	講義・実習項目
11	甫仮	歯科衛生士と医療倫理
12	甫仮	歯科衛生士と医療倫理
13	甫仮	海外における歯科衛生士
14	川村	歯科衛生士の活動と組織
15	川村	歯科衛生士の活動と組織

教科書	歯科衛生士が学ぶpickupシリーズ 健康と社会
参考書	歯科衛生士教本 歯科衛生士概論 第2版
一般目標 GIO	人々を健康に導く医療・保健・福祉の従事者となるために、健康の概念と現代の健康観を学び、社会との関わりの中で生涯を通じた健康課題・健康支援を思考する能力を習得する。
行動目標 SBOs	1. 健康についてどのようにとらえるか、自分の考えを述べることができる。 2. 個人をとりまく社会について述べるができる。 3. 生活習慣にかかわる健康課題について述べるができる。 4. 地域社会の役割や健康を支援する制度、組織などについて述べるができる。 5. 口腔保健を中心に社会の状況を確認することができる。
評価 EV	定期試験 50% レポート 50%

時間	担当者	講義・実習項目
1	川村	健康ってなに
2	川村	健康ってなに
3	甫仮	個人をとりまく社会
4	甫仮	個人をとりまく社会
5	甫仮	生活習慣と健康
6	甫仮	生活習慣と健康
7	川村	健康への取り組み
8	川村	健康への取り組み
9	甫仮	健康情報の活用
10	甫仮	健康を支え合う仕組み

科目名 歯科衛生士概論

時間	担当者	講義・実習項目
11	甫仮	口腔保健からみた健康
12	川村	口腔保健からみた健康
13	川村	口腔保健からみた健康
14	川村	口腔保健からみた健康
15	川村	これからの歯科衛生士

科目名	歯科臨床概論	
担当講師	深川 聖彦・菊地 雅明・大塚 和歌子	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	1 単位	1 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義

教科書	医歯薬出版 歯科衛生士のための歯科臨床概論
参考書	
一般目標 GIO	歯科医学および歯科臨床の概略を理解するとともに歯科衛生士の役割を修得する。
行動目標 SBOs	・ 歯科医療の特異性を理解できる ・ 医療人としての自覚をもつことができる ・ 個々の臨床科目の特徴を理解できる
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	深川	歯科医療の内容について
2	深川	歯科医療従事者の種類と役割について
3	深川	歯科患者の心理及び対応の仕方について
4	深川	高齢歯科患者への対応について
5	深川	歯科疾患の概要について
6	深川	歯科診療所について
7	深川	歯科診療のながれの概要
8	深川	歯科保存治療の概要について
9	深川	歯周治療の概要
10	深川	歯科補綴治療の概要

時間	担当者	講義・実習項目
11	深川	小児歯科治療の概要
12	深川	矯正歯科治療の概要
13	深川	口腔外科治療の概要
14	深川	インプラント、審美治療の概要

教科書	医歯薬出版 歯科衛生士のための歯科臨床概論
参考書	
一般目標 GIO	歯科医学および歯科臨床の概略を理解するとともに 歯科衛生士の役割を修得する。
行動目標 SBOs	・ 歯科医療の特異性を理解できる ・ 医療人としての自覚をもつことができる ・ 個々の臨床科目の特徴を理解できる
評価 EV	定期試験 90% 学習態度及び出席 10%

担当講師より

歯科医療とは口腔内の健康を回復し保持するためのものです。
 歯科衛生士は生涯にわたって人の役に立つことが出来る国家資格
 の専門職ですので基礎をしっかりと学習して下さい

時間	担当者	講義・実習項目
1	菊地	歯科臨床の場
2	菊地	歯科診療の場と関わる人々、対象者
3	菊地	歯科診療所のスタッフ
4	菊地	歯科診療所の紹介
5	菊地	歯科診療所における安全管理 1
6	菊地	歯科診療所における安全管理 2
7	菊地	歯科診療所における業務 1
8	菊地	歯科診療所における業務 2

教科書	医歯薬出版 歯科衛生士のための歯科臨床概論
参考書	
一般目標 GIO	歯科臨床のシステムや診療の流れを学び、歯科衛生士として果たす役割を修得する。
行動目標 SBOs	1. 歯科診療所について概要を理解する。 2. 診療の流れについて概要を述べることができる。 3. 医療従事者としての心構えを身につける。 4. 歯科疾患の大まかな知識を得て、簡単に述べるができる。
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：歯科衛生士という仕事は自分のためにも、家族のためにも、そして大切な人のためにもなる素晴らしい仕事です。そしてみなさんがこの仕事を通して自分のスキルをアップするためにはどうしたらよいか、又みなさんを必要としている歯科医師としての立場から、又同じ女性としての立場から短い時間ですがお話できればと思います。

時間	担当者	講義・実習項目
1	大塚	歯科診療に関わる人々と現状と未来について
2	大塚	歯科医療の基礎知識
3	大塚	医療従事者としての心構え ライフステージにおける歯科診療
4	大塚	歯科診療の概要①
5	大塚	歯科診療の概要②
6	大塚	歯科治療と関連のある全身疾患の基礎知識
7	大塚	予防処置の基礎知識
8	大塚	メインテナンスと歯科衛生士の役割

科目名	保存修復学	
担当講師	五味 明 雄	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 保存修復	
参考書	医歯薬出版 新人歯科衛生士・歯科助手 ポケットマニュアル 第2版	
一般目標 GIO	◎歯科衛生士法の基に、歯牙並びに歯髓の保存療法学に関する総括知識・理論技術力・処置法を習得する	
行動目標 SBOs	・ 歯科保存療法学の意義と分類を述べる事が出来る ・ 口腔検査の基礎知識とその検査内容を説明が出来る ・ 硬組織疾患の分類からその保存処置の説明が出来る ・ 保存修復材料の分類、特徴、手順等の説明が出来る	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：受講態度と各自が授業中に作成するノートもチェック評価の対象とし、また、過去の国家試験問題の解説も行い、全員必ず合格させる

時間	担当者	講義・実習項目
1	五味	I 編 歯の保存療法とは（1章・2章総括）
2	五味	： P 2～P12
3	五味	II 編 保存修復（1章 保存修復の概要）
4	五味	： P14～P37
5	五味	II 編 保存修復（2章 直接法修復）
6	五味	： P38～P60
7	五味	II 編 保存修復（3章 間接法修復）
8	五味	： P61～P82
9	五味	II 編 保存修復（4章 保存修復における
10	五味	歯科衛生士の役割）： P83～P111

科目名 保存修復学

時間	担当者	講義・実習項目
11	五味	I 編（1 章・2 章）並びにII 編（1 章） 総括
12	五味	II 編（2 章・3 章・4 章） 総括並びに質問
13	五味	国家試験過去問題 選定模擬試験
14	五味	： 解答並びに解説
15	五味	付／歯のホワイトニング等 P217～P226

科目名	歯内療法学	
担当講師	堀川 信行	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法	
参考書		
一般目標 GIO	歯内療法学に関する知識・技術を修得する。	
行動目標 SBOs	・歯内療法学における歯髄の保存療法、除去療法及び外科的歯内療法の適応、処置の内容、用いる器具及び薬品を述べることができる ・歯髄疾患及び根尖性歯周組織疾患の症状、診断、処置について述べるができる	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	堀川	歯内療法学の基礎知識と歴史
2	堀川	歯牙及び歯周組織の解剖学と形態学
3	堀川	歯髄疾患の鑑別と治療法①
4	堀川	歯髄疾患の鑑別と治療法②
5	堀川	歯内療法学で用いる薬品
6	堀川	根尖性歯周組織疾患の鑑別と治療法①
7	堀川	根尖性歯周組織疾患の鑑別と治療法②
8	堀川	ラバーダム防湿法に用いる器材について
9	堀川	歯内療法学で用いる器具、器材について
10	堀川	根管治療の手順(麻酔抜髄法)

科目名**歯内療法学**

時間	担当者	講義・実習項目
11	堀川	外科的歯内療法の種類と適応及び手技について
12	堀川	歯内療法における偶発症
13	堀川	根管充填法の手順
14	堀川	器具・器材の滅菌について
15	堀川	根管治療及び歯髄保存、除去療法の種類と手技

科目名	歯科補綴学	
担当講師	佐藤 暢也	武蔵 哲貞
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	1 単位	1 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴	
参考書		
一般目標 GIO	歯科衛生法に基づき歯科補綴学に関する知識を習得する。	
行動目標 SBOs	・補綴治療の意義と目的を述べることができる。 ・補綴装置の種類と適応を述べることができる。 ・補綴治療の基礎知識を述べることができる。 ・クラウン・ブリッジの基礎知識を理解し、臨床に必要な知識を述べることができる。	
評価 EV	定期試験 100%	
担当講師より：質問など授業に対して積極的な姿勢を期待しています。		
時間	担当者	講義・実習項目
1	佐藤	歯科補綴学とは。臨床例を通して。
2	佐藤	補綴歯科治療の基礎知識。歯列弓の形態など。
3	佐藤	補綴歯科治療の基礎知識。顎口腔系の機能など。
4	佐藤	補綴歯科治療の基礎知識。咬合様式と顎運動など。
5	佐藤	歯の欠損に伴う障害と補綴歯科治療。口腔内の変化など。
6	佐藤	歯の欠損に伴う障害と補綴歯科治療。治療に伴う合併症など。
7	佐藤	補綴装置の種類とその構造。固定性補綴装置。
8	佐藤	補綴装置の種類とその構造。可撤性補綴装置。
9	佐藤	補綴歯科治療における検査・診断。口腔内の検査など。
10	佐藤	補綴歯科治療における検査・診断。模型による検査など。

科目名

歯科補綴学

時間	担当者	講義・実習項目
11	佐藤	クラウン・ブリッジ治療の実際。クラウン治療の流れ。
12	佐藤	クラウン・ブリッジ治療の実際。ブリッジ治療の流れ。
13	佐藤	有床義歯治療の実際。検査と診断。
14	佐藤	有床義歯治療の実際。全部床義歯治療の流れ。
15	佐藤	有床義歯治療の実際。部分床義歯治療の流れ。

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴
参考書	
一般目標 GIO	歯科衛生士法の基に歯科補綴に関する理論・知識を習得する
行動目標 SBOs	・インプラントの基本構造と治療の流れについて理解している。 ・インプラント治療時の歯科衛生士の役割を理解している。 ・歯科補綴治療に用いる器具、器材について理解している。 ・補綴歯科治療における歯科技工について理解している。 ・補綴歯科臨床における歯科衛生士の役割を理解している。
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：雑談禁止

時間	担当者	講義・実習項目
1	武蔵	インプラント治療の実際（インプラントとは）
2	武蔵	インプラント治療の実際（インプラント治療の流れ）
3	武蔵	インプラント治療の実際（プラークコントロールとメンテナンス）
4	武蔵	インプラント治療時の歯科衛生士の役割
5	武蔵	インプラント治療時に用いられる器材
6	武蔵	補綴歯科治療に用いられる器材（切削・研磨用の機材）
7	武蔵	補綴歯科治療に用いられる器材（印象採得用の器材）

科目名 歯科補綴学

8	武蔵	補綴歯科治療に用いられる器材（咬合採得用の器材）
9	武蔵	補綴歯科治療に用いられる器材（人工歯）
10	武蔵	補綴歯科治療における歯科技工
11	武蔵	補綴歯科治療における歯科衛生士の役割（診査・診断時）
12	武蔵	補綴歯科治療における歯科衛生士の役割（治療時の業務）
13	武蔵	補綴歯科治療における歯科衛生士の役割（患者指導）
14	武蔵	補綴歯科治療における歯科衛生士の役割（機材の管理）
15	武蔵	まとめ

科目名	口腔外科学（麻酔学を含む）	
担当講師	福田 雅幸	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	1 単位	1 学年 後期
時間		
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔	
参考書		
一般目標 GIO	口腔の構造を理解し，種々の口腔外科疾患と歯科麻酔に対する知識および診療介助の基本を修得する。	
行動目標 SBOs	・口腔外科で取り扱う疾患を述べることができる。 ・口腔外科疾患の原因,症状,治療法等を述べることができる。 ・診療や手術で用いる器材と介助について述べることができる。 ・歯科麻酔についての概要を述べることができる。 ・周術期口腔機能管理の概要とチーム医療についての概要を述べる	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	福田	口腔外科の概要
2	福田	口腔外科と歯科衛生士
3	福田	口腔外科領域の主な疾患
4	福田	口腔病変と基礎疾患
5	福田	顎口腔領域の先天異常
6	福田	顎口腔領域の発育異常
7	福田	顎口腔領域の損傷と外傷
8	福田	口腔粘膜疾患
9	福田	顎口腔領域の炎症
10	福田	顎口腔領域の嚢胞

科目名 口腔外科学(麻酔学を含む)

時間	担当者	講義・実習項目
11	福田	顎口腔領域の腫瘍1
12	福田	顎口腔領域の腫瘍2
13	福田	唾液腺疾患
14	福田	顎口腔領域の神経疾患
15	福田	口腔外科診療の実際1：口腔外科治療の流れ
16	福田	口腔外科診療の実際2：診察と診断
17	福田	口腔外科診療の実際3：清潔と不潔
18	福田	口腔外科診療の実際4：創傷の処置
19	福田	口腔外科診療の実際5：口腔外科小手術
20	福田	口腔外科診療の実際6：止血と縫合処置
21	福田	歯科麻酔学総論：歯科麻酔と全身管理
22	福田	局所麻酔
23	福田	精神鎮静法
24	福田	全身麻酔
25	福田	救急蘇生法
26	福田	歯科衛生士の業務について1：抜歯
27	福田	歯科衛生士の業務について2：外来小手術
28	福田	歯科衛生士の業務について3：歯科インプラント
29	福田	歯科衛生士の業務について4：周術期口腔機能管理
30	福田	歯科衛生士の業務について5：診療室と器材の管理

科目名	小児歯科学	
担当講師	千葉 利昭	藤田 俊哉
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	1 単位	1 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 小児歯科
参考書	
一般目標 GIO	歯科衛生士法の基に小児歯科に関する知識・技術を習得する。
行動目標 SBOs	・小児期の特徴と歯科的問題点について述べることができる。 ・小児歯科診療体系の流れについて説明できる。 ・患児の対応法について理解し、実践できる。 ・診査、歯冠修復、歯内療法、外科的処置、咬合誘導、定期検診について説明できる。 ・障害児の歯科治療の特徴について述べることができる。
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	千葉	小児期の特徴と歯科的問題点①
2	千葉	小児期の特徴と歯科的問題点②
3	千葉	小児歯科における患者との対応法
4	千葉	歯科治療時の対応法
5	千葉	小児歯科診療とその特徴
6	千葉	小児の歯冠修復
7	千葉	小児の歯内療法
8	千葉	小児の外科的処置
9	千葉	主な障害とその全身的・歯科的特徴
10	千葉	障害児への対応

科目名

小児歯科学

時間	担当者	講義・実習項目
11	千葉	診療・検査の目的
12	千葉	齲蝕予防
13	千葉	フッ化物の応用
14	千葉	小児歯科診療における診療補助①
15	千葉	小児歯科診療における診療補助②
16	千葉	小児歯科診療における診療補助③
17	千葉	小児の口腔保健管理
18	千葉	歯科診療室と器材の管理

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 小児歯科
参考書	
一般目標 GIO	歯科衛生士法の基に小児歯科に関する知識・技術を習得する。
行動目標 SBOs	1.小児歯科の意義と目的について説明できる。2.心身の発育について述べるができる。3.小児の生理的特徴について述べるができる。4.顔面頭蓋の発育について理解し、述べることができる。5.歯の発育、歯列・咬合の発育とその異常について理解し述べることができる。6.小児の歯科疾患について理解し、述べることができる。
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	藤田	小児歯科概論①
2	藤田	小児歯科概論②
3	藤田	心身の発育①
4	藤田	心身の発育②

5	藤田	小児の生理的特徴
6	藤田	顔面頭蓋の発育①
7	藤田	顔面頭蓋の発育②
8	藤田	歯の発育とその異常
9	藤田	歯列・咬合の発育と異常①
10	藤田	歯列・咬合の発育と異常②
11	藤田	小児の歯科疾患①
12	藤田	小児の歯科疾患②

科目名	歯科矯正学	
担当講師	安藤 葉介	山内 積
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	1 単位	1 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正
参考書	
一般目標 GIO	歯科矯正学の概要を習得する 歯科矯正治療に関する基礎知識を習得し、診療補助能力を養う
行動目標 SBOs	・ 矯正歯科治療の目的、必要性、流れを説明できる。 ・ 矯正歯科治療におけるチーム医療と歯科衛生士の役割を説明できる。 ・ 頭部顎顔面および歯、歯列の成長発育について説明できる。 ・ 不正咬合の状態を表す一般的な用語と慣用語を説明できる。 ・ 不正咬合の原因、予防について説明できる。 ・ Angleの不正咬合分類を説明できる。 ・ 診断に必要な資料と分析法(模型分析,セファロ分析,成長分析)を説明できる。 ・ 矯正力、歯の移動と組織反応および歯の移動様式を説明できる。 ・ 保定の定義とそれに用いる装置を説明できる。 ・ 矯正装置の種類とその構成、使用目的、適用時期を説明できる。 ・ 矯正装置装着時の指導ができる。
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	安藤	歯科矯正学の定義と矯正歯科治療の目的 歯科矯正治療の需要と必要性
2	安藤	歯科矯正治療のベネフィットとリスク、歯科矯正治療とチーム医療
3	安藤	身体の成長発育、頭蓋および顎顔面の成長発育
4	安藤	歯・歯列の成長発育、口腔機能の発達
5	安藤	正常咬合の概念、顎位と顎運動
6	安藤	不正咬合を表す一般的な用語と慣用語
7	安藤	不正咬合の分類
8	安藤	不正咬合の原因と予防
9	安藤	歯科矯正治療における診断の概要
10	安藤	歯科矯正診断に必要な検査

時間	担当者	講義・実習項目
11	安藤	症例分析（模型分析）
12	安藤	症例分析（セファロ分析、成長分析）、非抜歯治療と抜歯治療
13	安藤	歯の移動と固定、歯の移動と組織反応
14	安藤	歯の移動様式、矯正力と顎整形力、保定
15	安藤	可撤式矯正装置、固定式矯正装置
16	安藤	機能的矯正装置、拡大装置、顎外固定装置 口腔習癖除去装置、保定装置

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正
参考書	
一般目標 GIO	矯正歯科臨床を理解し、臨床の流れ、器材材料の使用 方法、臨床上の注意点を理解して行動できるようにする。
行動目標 SBOs	◎様々な不正咬合の検査・診断・治療計画・治療のタイミング・治療に用いる器材・治療の実際について理解し、行動できるようにする。 ●診療時に用いる器材、道具、材料の特徴、使用法、手順、注意事項を理解し使えるようにする。 ●矯正歯科患者の口腔保健管理を理解、実施できるようにする。 ●矯正歯科患者の口腔筋機能療法を理解し実施できるようにする。
評価 EV	定期試験 100%
担当講師より：出来るだけ実際の臨床を見せたいと思います。器具も毎回持って行き、衛生士も毎回帯同します。実習先であまり触れる事の無い様なので今のうちに臨床を感じてください！	

時間	担当者	講義・実習項目
1	山内 他	矯正歯科治療の実際1
2	山内 他	初診相談・検査（動画視聴）
3	山内 他	矯正歯科治療の実際2
4	山内 他	装置装着・調整（動画視聴）
5	山内 他	矯正装置の補助と指導

6	山内 他	矯正装置の補助と指導2
7	山内 他	矯正治療における歯科衛生士の役割
8	山内 他	矯正治療に使用される器材・材料
9	山内 他	実習見学（バンディング・ワイヤ着脱・ワイヤベンディング）
10	山内 他	実習見学（バンディング・ワイヤ着脱・ワイヤベンディング）
11	山内 他	口腔保健管理（歯科衛生士による講義）
12	山内 他	口腔筋機能療法（歯科衛生士による講義）
13	山内 他	テスト
14	山内 他	テスト解説・予備の時間

科目名	歯科予防処置 I	
担当講師	専任教員 吉田律子・石塚美波子・山口柳子	
授業時間	単位数	履修時期
1 2 4 時間	6 単位	1 学年 前後期
6 時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法	
参考書		
一般目標 GIO	歯科衛生士法を基に口腔の予防処置に関する知識技術を習得する。	
行動目標 SBOs	・ 歯科予防処置の定義と種類を述べることができる ・ 予防的歯石除去法の内容を説明できる ・ 各種スケーラーの種類、名称、形態の特徴を述べることができる ・ 歯周診査器具器材の名称、形態及び使用目的を述べることができる ・ う蝕予防処置法の内容が説明できる ・ フッ化物(作用機序、応用法、中毒)について説明できる ・ マネキンを使用してスケーリング、プロービングの基本操作ができる ・ 口腔内でスケーリングができる	
評価 EV	定期試験 100%	

時間	担当者	講義・実習項目
1	石塚	総論 歯科予防処置とは
2	石塚	総論 歯周病予防処置の基礎知識
3	石塚	総論 歯周病の起炎因子
4	石塚	総論 歯周組織の病的変化
5	石塚	予防の概念 歯周病の予防レベル
6	石塚	小テスト①
7	石塚	スケーリングとは
8	石塚	手用器具の種類とスケーラーの概要
9	石塚	鎌型スケーラーについて
10	石塚	マネキンの取り扱いについて

時間	担当者	講義・実習項目
11	石塚	鎌型スケーラーの操作について①
12	石塚	鎌型スケーラーの操作について②
13	石塚	鎌型スケーラーの操作について③
14	石塚	鎌型スケーラーの操作について④
15	石塚	小テスト②
16	石塚	口腔内の情報収集①
17	石塚	口腔内の情報収集②
18	石塚	口腔内の情報収集③
19	石塚	口腔内の情報収集④
20	石塚	小テスト③
21	石塚	歯周審査用器材について
22	石塚	プロービングに必要な知識について
23	石塚	キュレットスケーラーについて
24	石塚	キュレットスケーラーの操作について①
25	石塚	キュレットスケーラーの操作について②
26	石塚	キュレットスケーラーの操作について③
27	石塚	超音波スケーラーについて
28	石塚	超音波スケーラーの操作について
29	石塚	エアスケーラーについて
30	石塚	エアスケーラーの操作について

時間	担当者	講義・実習項目
31	石塚	歯面研磨器の種類、研磨剤について
32	石塚	歯面研磨器の操作方法について
33	石塚	歯面清掃器について
34	石塚	歯面清掃器の操作について
35	石塚	PMT Cについて
36	石塚	偶発事故の予防と対応・ヒヤリハット
37	石塚	器具のメンテナンスについて
38	石塚	スリーウェイシリンジ・バキュームテクニック
39	石塚	ライティング
40	石塚	患者実習について
41	石塚	学生相互実習について
42	吉田	う蝕予防処置法について
43	吉田	フッ化物の作用機序
44	吉田	フッ化物の応用法について
45	吉田	フッ化物局所応用法について①
46	吉田	フッ化物局所応用法について②
47	吉田	小窩裂溝填塞法
48	吉田	フッ化物悪心嘔吐発現量の算出の仕方
49	吉田	フッ化物洗口について①
50	吉田	フッ化物洗口について② 歯磨剤について

科目名

歯科予防処置Ⅰ

時間	担当者	講義・実習項目
51	吉田	集団応用について
52	吉田	う蝕活動性試験について①
53	吉田	う蝕活動性試験について②
54	吉田	偶発事故の予防と対応・ヒヤリハット③
55	吉田	偶発事故の予防と対応・ヒヤリハット④
56	吉田	患者実習について③
57	吉田	患者実習について④
58	吉田	まとめ①
59	吉田	まとめ②
60	吉田	まとめ③

科目名 歯科予防処置Ⅰ

時間	担当者	講義・実習項目
1	吉田 石塚 山口	インスツルメントの取り扱い
2	吉田 石塚 山口	エキスプローラー机上実習
3	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上実習①
4	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上実習②
5	吉田 石塚 山口	マネキン操作
6	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習①
7	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習②
8	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習③
9	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習④
10	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習⑤
11	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習⑥
12	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習⑦
13	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習⑧
14	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習⑨
15	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習⑩
16	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習⑪
17	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー机上・マネキン実習⑫
18	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー操作確認①
19	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー操作確認②
20	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー操作確認③

時間	担当者	講義・実習項目
21	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー操作確認④
22	吉田 石塚 山口	プロービング卓上実習①
23	吉田 石塚 山口	プロービング卓上実習②
24	吉田 石塚 山口	プロービング卓上・マネキン実習①
25	吉田 石塚 山口	プロービング卓上・マネキン実習②
26	吉田 石塚 山口	プロービング卓上・マネキン実習③
27	吉田 石塚 山口	プロービング卓上・マネキン実習④
28	吉田 石塚 山口	プロービング卓上・マネキン実習⑤
29	吉田 石塚 山口	プロービング卓上・マネキン実習⑥
30	吉田 石塚 山口	プロービング操作確認①
31	吉田 石塚 山口	プロービング操作確認②
32	吉田 石塚 山口	プロービング操作確認③
33	吉田 石塚 山口	プロービング操作確認④
34	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上実習①
35	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上実習②
36	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習①
37	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習②
38	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習③
39	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習④
40	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習⑤

時間	担当者	講義・実習項目
41	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習⑥
42	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習⑦
43	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習⑧
44	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習⑨
45	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習⑩
46	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習⑪
47	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー卓上・マネキン実習⑫
48	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー操作確認①
49	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー操作確認②
50	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー操作確認③
51	吉田 石塚 山口	キュレットスケーラー操作確認④
52	吉田 石塚 山口	基礎実習室の各種器具の使用法
53	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー学生相互実習①
54	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー学生相互実習②
55	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー学生相互実習③
56	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー学生相互実習④
57	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー学生相互実習⑤
58	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー学生相互実習⑥
59	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー学生相互実習⑦
60	吉田 石塚 山口	鎌型スケーラー学生相互実習⑧

科目名

歯科予防処置 I

時間	担当者	講義・実習項目
61	吉田 石塚 山口	総合相互実習①
62	吉田 石塚 山口	総合相互実習②
63	吉田 石塚 山口	総合相互実習③
64	吉田 石塚 山口	総合相互実習④

科目名		歯科保健指導 I	
担当講師		専任教員 金山 奈穂美	
授業時間		単位数	履修時期
105 時間		6 単位	1 学年 前後 期
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 学建書院 改訂 歯ブラシ事典 学建書院 オーラルヘルスケア事典 学校歯科保健参考資料文部科学省 「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり		
参考書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 保健生態学		
一般目標 GIO	◎自己の口腔内を健康に保つ為の知識や態度を修得する。 ◎ライフステージに合せた歯科保健指導を行う為の基本的な知識や態度を修得する。		
行動目標 SBOs	・健康の概念を知る。		
	・保健指導の意義を述べる。		
	・歯科保健指導の定義を述べる。		
	・口腔保健正常像と病的な状態の違いを知る。		
	・日常生活（食生活を含む）と歯科保健の関係性を知る。		
	・ライフステージごとの歯科保健行動を述べる。		
	・ブラッシング方法を列挙し説明する。		
	・口腔清掃用具の特徴を具体的に述べる。		
	・ライフステージごとの歯科保健指導の要点を知る。		
評価 EV	定期試験 100%		

担当講師より：歯科保健指導で学ぶ内容は生活に役立つことが豊富です。楽しい気持ちで意欲的に学びましょう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	金山	健康の概念と保健指導の意義
2	金山	〃
3	金山	〃
4	金山	〃
5	金山	〃
6	金山	〃
7	金山	歯科保健指導の基礎
8	金山	〃
9	金山	〃
10	金山	〃
11	金山	〃
12	金山	〃
13	金山	歯・口腔の健康と予防
14	金山	〃
15	金山	〃
16	金山	妊産婦の歯科保健行動
17	金山	〃
18	金山	乳幼児の歯科保健行動
19	金山	〃
20	金山	学齢期の歯科保健行動
21	金山	〃

時間	担当者	講義・実習項目
22	金山	成人の歯科保健行動
23	金山	〃
24	金山	老人の歯科保健行動
25	金山	〃
26	金山	心身障害者の歯科保健行動
27	金山	〃
28	金山	歯科保健指導の方法
29	金山	〃
30	金山	歯科保健指導実習の概要
31	金山	口腔内観察 歯・口腔の汚れについて
32	金山	歯垢染め出しの方法
33	金山	〃
34	金山	汚れの表現方法
35	金山	〃
36	金山	〃
37	金山	口腔観察基礎知識
38	金山	〃
39	金山	う蝕活動性について
40	金山	歯ブラシの基礎知識
41	金山	〃
42	金山	〃

時間	担当者	講義・実習項目
43	金山	歯ブラシの基礎知識
44	金山	歯磨剤・洗口剤の基礎知識
45	金山	〃
46	金山	ブラッシングの基礎知識
47	金山	〃
48	金山	〃
49	金山	〃
50	金山	〃
51	金山	〃
52	金山	補助清掃用具の基礎知識
53	金山	〃
54	金山	〃
55	金山	〃
56	金山	電動・音波・超音波歯ブラシについて
57	金山	〃
58	金山	改良歯ブラシについて
59	金山	ジェット水流洗口器について
60	金山	妊産婦に対する歯科保健指導
61	金山	〃
62	金山	乳幼児に対する歯科保健指導

時間	担当者	講義・実習項目
63	金山	乳幼児に対する歯科保健指導
64	金山	学齢期に対する歯科保健指導
65	金山	〃
66	金山	成人期に対する歯科保健指導
67	金山	〃
68	金山	老齢期に対する歯科保健指導
69	金山	〃
70	金山	義歯装着者に対する歯科保健指導
71	金山	〃
72	金山	矯正装置装着者・補綴物装着者に対する歯科保健指導
73	金山	〃
74	金山	心身障害者に対する歯科保健指導
75	金山	〃

時間	担当者	講義・実習項目
1	金山	口腔内の観察
2	金山	〃
3	金山	歯・口腔の汚れの観察
4	金山	〃
5	金山	口腔清掃自習法
6	金山	〃
7	金山	歯ブラシ検討実習
8	金山	歯磨剤・洗口剤検討実習
9	金山	ブラッシング法検討実習 1
10	金山	〃
11	金山	ブラッシング法検討実習 2
12	金山	〃
13	金山	ブラッシング法検討実習 3
14	金山	〃
15	金山	ブラッシング法検討実習 4
16	金山	補助清掃用具検討実習 1
17	金山	〃
18	金山	補助清掃用具検討実習 2
19	金山	〃
20	金山	音波歯ブラシ検討実習

時間	担当者	講義・実習項目
21	金山	口腔清掃法検討実習 1
22	金山	〃
23	金山	口腔清掃法検討実習 2
24	金山	〃
25	金山	口腔清掃法検討実習 3
26	金山	〃
27	金山	口腔清掃指導法実習 1
28	金山	〃
29	金山	口腔清掃指導法実習 2
30	金山	〃

科目名	栄養指導Ⅰ	
担当講師	伊藤 靖子	
授業時間	単位数	履修時期
30 時間	1 単位	1 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 東京法令出版 新食品成分表 FOODS 2019	
参考書		
一般目標 GIO	歯科における栄養指導に必要な知識を修得する。	
行動目標 SBOs	栄養素の体内での働きを記述できる。 生活習慣病と栄養素との関係が記述できる。 栄養素が含まれる食品と、バランスのとれた摂取法が記述できる。 食品とう蝕、歯周疾患との関連性が記述できる。	
評価 EV	定期試験100%（場合によっては教場試験を加味）	

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	伊藤	序章、Ⅰ編 1章①②③ p 1～14
2	伊藤	Ⅰ編 2章 生体における化学反応③ p 26～28
3	伊藤	食の歴史と食をめぐる諸問題（プリント）（その1）
4	伊藤	食の歴史と食をめぐる諸問題（プリント）（その2）
5	伊藤	Ⅳ編 1章 食生活と健康 ①国民の健康と栄養の現状 p 178～183
6	伊藤	Ⅰ編 1章 生体の構成要素 ③生体構成成分と栄養素（糖質） p 14～16（その1）
7	伊藤	Ⅰ編 1章 生体の構成要素 ③生体構成成分と栄養素（糖質） p 14～16（その2）
8	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（糖質、食物繊維） p 140～145、p 173～174（その1）
9	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（糖質、食物繊維） p 140～145、p 173～174（その2）
10	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（糖質、食物繊維） p 140～145、p 173～174（その3）

科目名

栄養指導 I

時間	担当者	講義・実習項目
11	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（糖質、食物繊維） p 140～145、 p 173～174（その4）
12	伊藤	I編 1章 生体の構成要素 ㊟生体構成成分と栄養素（脂質） p 16～18（その1）
13	伊藤	I編 1章 生体の構成要素 ㊟生体構成成分と栄養素（脂質） p 16～18（その2）
14	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（脂質） p 152～156（その1）
15	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（脂質） p 152～156（その2）
16	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（脂質） p 152～156（その3）
17	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（脂質） p 152～156（その4）
18	伊藤	I編 1章 生体の構成要素 ㊟生体構成成分と栄養素（タンパク質） p 18～20（その1）
19	伊藤	I編 1章 生体の構成要素 ㊟生体構成成分と栄養素（タンパク質） p 18～20（その2）
20	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（たんぱく質） p 145～152（その1）
21	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（たんぱく質） p 145～152（その2）
22	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（たんぱく質） p 145～152（その3）
23	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（たんぱく質） p 145～152（その4）
24	伊藤	I編 1章 生体の構成要素 ㊟生体構成成分と栄養素（ビタミン・ミネラル） p 20～21
25	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（ビタミン） p 156～162（その1）
26	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（ビタミン） p 156～162（その2）
27	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（ビタミン） p 156～162（その3）
28	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（ビタミン） p 156～162（その4）
29	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（ミネラル・水） p 162～173（その1）
30	伊藤	Ⅲ編 3章 栄養素の働き（ミネラル・水） p 162～173（その2）

科目名	歯科診療補助 I - 2	
担当講師	甫 仮 貴子	佐藤 弘樹
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	1 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版	
参考書		
一般目標 GIO	歯科診療補助の概念を理解し、歯科衛生士法に従って歯科診療補助業務を施行するための基礎知識を習得する。	
行動目標 SBOs	・ 歯科診療補助の意味を説明することができる。 ・ 歯科衛生士が施行できる歯科診療の補助の範囲について述べることができる。 ・ 感染予防対策の意義と方法について述べることができる。 ・ 器材の整備と管理、薬品の管理、廃棄物の分別について説明することができる。	
評価 EV	定期試験 100%	
担当講師より： 歯科診療補助について、なぜこの業務が必要か、またどのような心構えで臨むべきかについて、共に考えていきたいと思います。		
時間	担当者	講義・実習項目
1	甫仮	歯科診療補助の概念
2	甫仮	医療安全について
3	甫仮	感染予防について
4	甫仮	手指衛生について
5	甫仮	滅菌と消毒について
6	甫仮	医療廃棄物の取り扱いについて

科目名 歯科診療補助 I - 2

教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版		
参考書			
一般目標 GIO	歯科衛生士が臨床の現場でどのように活動すればよい か理解する。		
行動目標 SBOs	・診療の流れの理解。 ・使用器材についての知識の充実。 ・診療室の環境整備。 ・感染予防対策と滅菌消毒		
評価 EV	定期試験	100%	
担当講師より：			
時間	担当者	講義・実習項目	
1	佐藤	歯科診療補助とは	
2	佐藤	”	
3	佐藤	歯科診療補助の意味	
4	佐藤	”	
5	佐藤	歯科診療の流れと診療補助	
6	佐藤	”	
7	佐藤	診療室の管理についての理解	
8	佐藤	”	
9	佐藤	”	

科目名	歯科診療補助 I - 1	
担当講師	専任教員 菊地広美・菅原由紀子・山口柳子	
授業時間	単位数	履修時期
135 時間	6 単位	1 学年 前後 期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科材料 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科機器	
参考書	医歯薬出版 新人歯科衛生士・歯科助手 ポケットマニュアル 第2版	
一般目標 GIO	歯科医療における共同動作ができるために、診療の流れに沿った知識・技術を習得する。	
行動目標 SBOs	・ 歯科診療補助の意義と法的責任、共同動作の意義について説明できる。 ・ 歯科診療器具を理解し、取り扱い方法を説明できる。 ・ 歯科診療の治療内容に沿った歯科材料の取り扱い方法を説明できる。	
評価 EV		

時間	担当者	講義・実習項目
1	菊 地	歯科診療補助総論
2	菊 地	歯科衛生士としての心得
3	菊 地	歯科診療の流れ
4	菊 地	診療用器材の役割と取り扱い
5	菊 地	診療室の環境整備
6	菊 地	適切な患者対応について
7	菊 地	医療安全管理
8	菊 地	薬品の管理
9	菊 地	材料の管理
10	菊 地	消毒・滅菌方法について
11	菊 地	模型用材料について
12	菊 地	実習の心得 実習室の使い方、清掃、後始末
13	菊地 菅原 山口	模型材①
14	菊地 菅原 山口	模型材②
15	菊地 菅原 山口	模型材③

科目名 歯科診療補助 I - 1

時間	担当者	講義・実習項目
16	菊地 菅原 山口	模型材④
17	菊 地	衛生用品の作成①
18	菊 地	衛生用品の作成②
19	菊 地	合着材及び接着材①
20	菊 地	合着材及び接着材②
21	菊地 菅原 山口	合着材及び接着材③
22	菊地 菅原 山口	合着材及び接着材④
23	菊地 菅原 山口	合着材及び接着材⑤
24	菊地 菅原 山口	合着材及び接着材⑥
25	菊地 菅原 山口	合着材及び接着材⑦
26	菊地 菅原 山口	合着材及び接着材⑧
27	菊地 菅原 山口	合着材及び接着材 まとめ
28	菊地 菅原 山口	合着材及び接着材 まとめ
29	菊 地	仮封材①
30	菊 地	仮封材②
31	菊地 菅原 山口	仮封材③
32	菊地 菅原 山口	仮封材④
33	菊地 菅原 山口	仮封材⑤
34	菊地 菅原 山口	仮封材⑥
35	菊地 菅原 山口	仮封材⑦
36	菊地 菅原 山口	仮封材⑧
37	菊地 菅原 山口	仮封材まとめ
38	菊地 菅原 山口	仮封材まとめ
39	菊 地	印象材①
40	菊 地	印象材②
41	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材①
42	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材②
43	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材③
44	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材④
45	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材⑤

科目名 歯科診療補助 I - 1

時間	担当者	講義・実習項目
46	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材⑥
47	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材⑦
48	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材⑧
49	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材まとめ
50	菊地 菅原 山口	印象材 概形印象材まとめ
51	菊 地	印象材 精密印象材①
52	菊 地	印象材 精密印象材②
53	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 1 回法①
54	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 1 回法②
55	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 1 回法③
56	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 1 回法④
57	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 1 回法⑤
58	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 1 回法⑥
59	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 1 回法まとめ
60	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 1 回法まとめ
61	菊 地	印象材 精密印象材③
62	菊 地	印象材 精密印象材④
63	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 2 回法①
64	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 2 回法②
65	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 2 回法③
66	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 2 回法④
67	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 2 回法⑤
68	菊地 菅原 山口	印象材 連合印象材 2 回法⑥
69	菊地 菅原 山口	印象材 その他の印象材①
70	菊地 菅原 山口	印象材 その他の印象材②
71	菊地 菅原 山口	印象材 その他の印象材③
72	菊地 菅原 山口	印象材 まとめ
73	菊地 菅原 山口	印象材 まとめ
74	菊 地	歯肉圧排①
75	菊 地	歯肉圧排②

科目名 歯科診療補助 I - 1

時間	担当者	講義・実習項目
76	菊 地	歯間分離法
77	菊 地	歯間分離法
78	菊 地	隔壁法
79	菊 地	隔壁法
80	菊 地	切削・研磨器材
81	菊 地	歯冠修復①
82	菊地 菅原 山口	歯冠修復(V級窩洞)①
83	菊地 菅原 山口	歯冠修復(V級窩洞)②
84	菊地 菅原 山口	歯冠修復(V級窩洞)③
85	菊地 菅原 山口	歯冠修復(Ⅲ級窩洞)①
86	菊地 菅原 山口	歯冠修復(Ⅲ級窩洞)②
87	菊地 菅原 山口	歯冠修復(Ⅲ級窩洞)③
88	菊 地	歯髄処置①
89	菊 地	歯髄処置②
90	菊 地	歯冠修復(I級窩洞)①
91	菊地 菅原 山口	歯冠修復(I級窩洞)②
92	菊地 菅原 山口	修復物の研磨
93	菊 地	研究用模型の作製について
94	菊 地	研究用模型の作製について
95	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製①
96	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製②
97	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製③
98	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製④
99	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑤
100	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑥
101	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑦
102	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑧
103	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑨
104	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑩
105	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑪

科目名 歯科診療補助 I - 1

時間	担当者	講義・実習項目
106	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑫
107	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑬
108	菊地 菅原 山口	研究用模型の作製⑭
109	菊 地	生体検査①
110	菊 地	生体検査②
111	菊 地	救命救急処置①
112	菊 地	救命救急処置②
113	菊 地	矯正治療における診療補助①
114	菊 地	矯正治療における診療補助②
115	菊 地	小児歯科における診療補助
116	菊 地	障害者への対応
117	菊 地	歯内療法における診療補助①
118	菊 地	歯内療法における診療補助②
119	菊 地	補綴治療における診療補助①
120	菊 地	補綴治療における診療補助②
121	菊 地	補綴治療における診療補助③
122	菊 地	補綴治療における診療補助④
123	菊 地	局所麻酔時の器材準備と取り扱いについて
124	菊 地	局所麻酔時の器材準備と取り扱いについて
125	菊 地	口腔外科治療について
126	菊 地	口腔外科治療について
127	菊地 菅原 山口	口腔外科治療の術式とセッティング
128	菊地 菅原 山口	口腔外科治療の術式とセッティング
129	菊地 菅原 山口	口腔外科治療の術式とセッティング
130	菊地 菅原 山口	口腔外科治療の術式とセッティング
131	菊 地	口腔内・顔面写真の撮影について
132	菊 地	口腔内・顔面写真の撮影について
133	菊地 菅原 山口	総合実習①
134	菊地 菅原 山口	総合実習②
135	菊地 菅原 山口	総合実習③

秋田県歯科医療専門学校介護職員初任者研修カリキュラム(1学年)

教科名・担当講師	時間数	目的	内容
介護における尊厳の保持・自立支援 清水由美子	2時間	・介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての、基本的視点及びしてはならない行動例が理解できている。	1. 人権と尊厳を支える介護 (1) 人権と尊厳の保持 ○個人としての尊重 ○「役割」の実感 ○アドボカシー ○尊厳のある暮らし ○エンパワメントの視点 ○利用者のプライバシーの保護 (2) ICF ○介護分野におけるICF (3) QOL ○QOLの考え方 ○生活の質 (4) ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 (5) 高齢者虐待防止・身体拘束禁止 ○高齢者虐待防止法 ○身体拘束禁止 ○高齢者の養護者支援 (6) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法 ○成年後見制度 ○日常生活自立支援事業 2. 自立に向けた介護 (1) 自立支援 ○自立・自律支援 ○残存能力の活用 ○動機と欲求 ○意欲を高める支援 ○個別性/個別ケア ○重度化防止 (2) 介護予防 ○介護予防の考え方
職務の理解 菅原博子	3時間	・研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのように仕事を行うのを具体的なイメージで実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになっている。	1. 多様なサービスの理解 ○介護保険サービス(居宅、施設) ○介護保険外サービス 2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解 ○居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ○居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ (視聴覚教材の活用、現場職員の体験談、サービス事業所における受講者の選択による実習・見学等) ○ケアプランの位置付けに始まる、サービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携
介護における尊厳の保持・自立支援 清水由美子	2時間	・介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての、基本的視点及びしてはならない行動例が理解できている。	1. 人権と尊厳を支える介護 (1) 人権と尊厳の保持 ○個人としての尊重 ○「役割」の実感 ○アドボカシー ○尊厳のある暮らし ○エンパワメントの視点 ○利用者のプライバシーの保護 (2) ICF ○介護分野におけるICF (3) QOL ○QOLの考え方 ○生活の質 (4) ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 (5) 高齢者虐待防止・身体拘束禁止 ○高齢者虐待防止法 ○身体拘束禁止 ○高齢者の養護者支援 (6) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法 ○成年後見制度 ○日常生活自立支援事業 2. 自立に向けた介護 (1) 自立支援 ○自立・自律支援 ○残存能力の活用 ○動機と欲求 ○意欲を高める支援 ○個別性/個別ケア ○重度化防止 (2) 介護予防 ○介護予防の考え方
老化の理解 佐藤正人	2時間	・加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項が理解できている。	2. 高齢者と健康 (1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 ○骨折 ○関節痛 ○筋力の低下と動作・姿勢の変化 (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 ○循環器障害(脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患) ○循環器障害の危険因子と対策 ○誤嚥性肺炎 ○病状の小さな変化に気づく視点 ○高齢者は感染症にかかりやすい ○老年期うつ病症状(強い不安感、焦燥感を背景に「訴え」の多さが全面に出る、うつ病性仮性認知症)
老化の理解 佐藤美香子	2時間	・加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項が理解できている。	1. 老化に伴うこころとからだの変化と日常 (1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ○防衛反応(反射)の変化 ○喪失体験 (2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 ○身体的機能の変化と日常生活への影響 ○咀嚼機能の低下 ○筋・骨・関節の変化 ○体温維持機能の変化 ○精神的機能の変化と日常生活への影響
障害の理解 半田温子	1時間	・障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できている。	3. 家族の心理、関わり支援の理解 (1) 家族への支援 ○障害の理解・障害の受容支援 ○介護負担の軽減

介護における尊厳の保持・自立支援 清水由美子	2時間	・介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての、基本的視点及びしてはならない行動例が理解できている。	1. 人権と尊厳を支える介護 (1) 人権と尊厳の保持 ○個人としての尊重 ○「役割」の契感 ○アドボカシー ○尊厳のある暮らし ○エンパワメントの視点 ○利用者のプライバシーの保護 (2) ICF ○介護分野におけるICF (3) QOL ○QOLの考え方 ○生活の質 (4) ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 (5) 高齢者虐待防止・身体拘束禁止 ○高齢者虐待防止法 ○身体拘束禁止 ○高齢者の養護者支援 (6) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法 ○成年後見制度 ○日常生活自立支援事業 2. 自立に向けた介護 (1) 自立支援 ○自立・自律支援 ○残存能力の活用 ○動機と欲求 ○意欲を高める支援 ○個別性/個別ケア ○重度化防止 (2) 介護予防 ○介護予防の考え方
介護・福祉サービスの理解と医療の連携 渡邊 暢	3時間	・介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として、最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務等について、その概要のポイントを列挙することができる。	2. 医療との連携とリハビリテーション ○医行為と介護 ○訪問介護 ○リハビリテーションの理念 ○施設における看護と介護の役割・連携
職務の理解 菅原博子	3時間	・研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのように仕事を行うのを具体的なイメージで実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになっている。	1. 多様なサービスの理解 ○介護保険サービス(居宅、施設) ○介護保険外サービス 2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解 ○居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ○居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ (視聴覚教材の活用、現場職員の体験談、サービス事業所における受講者の選択による実習・見学等) ○ケアプランの位置付けに始まる、サービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携
介護の基本 日赤秋田県支部	3時間	1. 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気付き、職務におけるリスクとその対応のうち重要なものが理解できている。 2. 介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができている。	3. 介護における安全の確保とリスクマネジメント (1) 介護における安全の確保 ○事故に結びつく要因を探り対応していく技術 ○リスクとハザード (2) 事故予防、安全対策 ○リスクマネジメント ○情報の共有 ○分析の手法と視点 ○事故に至った経緯の報告(家族への報告、市町村への報告等) (3) 感染対策 ○感染の原因と経路(感染源の排除、感染経路の遮断) ○「感染」に対する正しい知識 4. 介護職の安全 (1) 介護職の心身の健康管理 ○介護職の健康管理と介護の質への影響 ○手洗い・うがいの励行 ○ストレスマネジメント ○手洗いの基本 ○腰痛の予防に関する知識 ○感染症対策
認知症の理解 佐藤美香子	3時間	・介護において認知症を理解することの必要性に気付き、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則が理解できている。	1. 認知症を取り巻く状況 (1) 認知症の理念 ○パーソンセンタードケア ○認知症ケアの視点(できることに着目する) 2. 医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 (1) 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 ○認知症の定義 ○もの忘れとの違い ○せん妄の症状 ○治療 ○薬物療法 ○認知症に使用される薬 ○健康管理(脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア) 3. 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 (1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ○認知症の中核症状 ○認知症の行動・心理症状(BPSD) ○不適切なケア ○生活環境で改善 (2) 認知症の利用者への対応 ○本人の気持ちを推察する ○プライドを傷つけない ○相手の世界に合わせる ○失敗しないような状況をつくる ○認知症の進行に合わせたケア ○身体を通じたコミュニケーション ○全ての援助行為がコミュニケーションであると考えること ○相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する 4. 家族への支援 ○認知症の受容課程での援助 ○介護負担の軽減(レスパイトケア)

介護における尊厳の保持・自立支援 清水由美子	3時間	・介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての、基本的視点及びしてはならない行動例が理解できている。	1. 人権と尊厳を支える介護 (1) 人権と尊厳の保持 ○個人としての尊重 ○「役割」の実感 ○アドボカシー ○尊厳のある暮らし ○エンパワメントの視点 ○利用者のプライバシーの保護 (2) ICF ○介護分野におけるICF (3) QOL ○QOLの考え方 ○生活の質 (4) ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 (5) 高齢者虐待防止・身体拘束禁止 ○高齢者虐待防止法 ○身体拘束禁止 ○高齢者の養護者支援 (6) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法 ○成年後見制度 ○日常生活自立支援事業 2. 自立に向けた介護 (1) 自立支援 ○自立・自律支援 ○残存能力の活用 ○動機と欲求 ○意欲を高める支援 ○個別性/個別ケア ○重度化防止 (2) 介護予防 ○介護予防の考え方
介護の基本 寺門尚子	3時間	1. 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応のうち重要なものが理解できている。 2. 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができている。	1. 介護職の役割、専門性と多職種との連携 (1) 介護環境の特徴の理解 ○訪問介護と施設介護サービスの違い ○地域包括ケアの方向性 (2) 介護の専門性 ○重度化防止・遅延化の視点 ○利用者主体の支援体制 ○チームケアの重要性 ○自立した生活を支えるための援助 ○事業所内のチーム ○根拠のある介護 ○多職種から成るチーム (3) 介護に関わる職種 ○異なる専門性を持つ多職種の理解 ○サービス提供責任者 ○介護支援専門員 ○チームケアにおける役割分担 ○看護師等とチームとなり利用者を支える意味 ○互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供 2. 介護職の職業倫理 (1) 職業倫理 ○専門職の倫理の意義 ○介護の倫理(介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等) ○介護職としての社会的責任 ○プライバシーの保護・尊重
介護・福祉サービスの理解と医療の連携 清水由美子	4時間	・介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての、基本的視点及びしてはならない行動例が理解できている。	1. 人権と尊厳を支える介護 (1) 人権と尊厳の保持 ○個人としての尊重 ○「役割」の実感 ○アドボカシー ○尊厳のある暮らし ○エンパワメントの視点 ○利用者のプライバシーの保護 (2) ICF ○介護分野におけるICF (3) QOL ○QOLの考え方 ○生活の質 (4) ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 (5) 高齢者虐待防止・身体拘束禁止 ○高齢者虐待防止法 ○身体拘束禁止 ○高齢者の養護者支援 (6) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法 ○成年後見制度 ○日常生活自立支援事業 2. 自立に向けた介護 (1) 自立支援 ○自立・自律支援 ○残存能力の活用 ○動機と欲求 ○意欲を高める支援 ○個別性/個別ケア ○重度化防止 (2) 介護予防 ○介護予防の考え方

認知症の理解 佐藤美香子	3時間	・介護において認知症を理解することの必要性に気付く、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則が理解できている。	1. 認知症を取り巻く状況 (1) 認知症の理念 ○パーソンセンタードケア ○認知症ケアの視点(できることに着目する) 2. 医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 (1) 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 ○認知症の定義 ○もの忘れとの違い ○せん妄の症状 ○治療 ○薬物療法 ○認知症に使用される薬 ○健康管理(脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア) 3. 認知症に伴うことからの変化と日常生活 (1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ○認知症の中核症状 ○認知症の行動・心理症状(BPSD) ○不適切なケア ○生活環境で改善 (2) 認知症の利用者への対応 ○本人の気持ちを推察する ○プライドを傷つけない ○相手の世界に合わせる ○失敗しないような状況をつくる ○認知症の進行に合わせたケア ○身体を通したコミュニケーション ○全ての援助行為がコミュニケーションであると考えること ○相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する 4. 家族への支援 ○認知症の受容課程での援助 ○介護負担の軽減(レスパイトケア)
介護・福祉サービスの理解と医療の連携 清水由美子	2時間	・介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として、最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務等について、その概要のポイントを列挙することができる。	1. 介護保険制度 (1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ○ケアマネジメント ○地域包括支援センターの設置 ○予防重視型システムへの転換 ○地域包括ケアシステムの推進 (2) 仕組みの基礎的理解 ○保険制度としての基本的仕組み ○予防給付 ○介護給付の種類 ○要介護認定の手順 (3) 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割 ○指定介護サービス事業者の指定 ○財政負担 3. 障害者自立支援制度及びその他の制度 (1) 障害者福祉制度の理念 ○障害の理念 ○ICF(国際生活機能分類) (2) 障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ○介護給付・訓練等給付の申請から支給決定まで (3) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法 ○成年後見制度 ○日常生活自立支援事業
介護におけるコミュニケーション技術 清水由美子	4時間	・高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なること、その違いを認識してコミュニケーションをとることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限のとるべき又はとるべきではない行動例が理解できている。	1. 介護におけるコミュニケーション (1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ○相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮 ○傾聴 ○共感の応答 (2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ○言語的コミュニケーション及び非言語コミュニケーションの特徴 (3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実践 ○利用者の思いを把握する ○家族の心理的理解 ○意欲低下の要因を考える ○家族へのいたわりと励まし ○利用者の感情に共感する ○信頼関係の形成 ○自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする ○アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い (4) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実践 ○視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術 ○失語症に応じたコミュニケーション技術 ○構音障害に応じたコミュニケーション技術 ○認知症に応じたコミュニケーション技術 2. 介護におけるチームのコミュニケーション (1) 記録における情報の共有化 ○介護における記録の意義・目的 ○介護に関する記録の種類 ○利用者の状態を踏まえた観察と記録 ○ヒヤリ・ハット報告書 ○個別援助計画(訪問・通所・入所、福祉用具貸与等) ○5W1H (2) 報告 ○報告の留意点 ○連絡の留意点 ○相談の留意点 (3) コミュニケーションを促す環境 ○会議 ○情報共有の場 ○ケアカンファレンスの重要性 ○役割の認識の場(利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼)
障害の理解 佐藤美香子	2時間	・障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できている。	1. 障害の基礎的理解 (1) 障害の概念とICF ○ICFの分類と医学的分類 ○ICFの考え方 (2) 障害者福祉の基本概念 ○ノーマライゼーションの概念 2. 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的理解 (1) 身体障害 ○視覚障害 ○聴覚・平行障害 ○音声・言語・咀嚼障害 ○肢体不自由 ○内部障害 (2) 知的障害 ○知的障害 (3) 精神障害(高次脳機能障害、発達障害を含む) ○統合失調症・気分(感情)障害・依存症などの精神疾患 ○高次脳機能障害 ○広汎性発達障害・学習障害・注意欠陥多動性障害などの発達障害 (4) その他の心身の機能障害

介護におけるコミュニケーション技術 清水由美子	2時間	・高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なること、その違いを認識してコミュニケーションをとることが専門職に求められていることを認識し、初心者として最低限のとるべき又はとるべきではない行動例が理解できている。	1. 介護におけるコミュニケーション (1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ○相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮 ○傾聴 ○共感の応答 (2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ○言語的コミュニケーション及び非言語コミュニケーションの特徴 (3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実践 ○利用者の思いを把握する ○家族の心理的理解 ○意欲低下の要因を考える ○家族へのいたわりと励まし ○利用者の感情に共感する ○信頼関係の形成 ○自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする ○アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い (4) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実践 ○視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術 ○失語症に応じたコミュニケーション技術 ○構音障害に応じたコミュニケーション技術 ○認知症に応じたコミュニケーション技術 2. 介護におけるチームのコミュニケーション (1) 記録における情報の共有化 ○介護における記録の意義、目的 ○介護に関する記録の種類 ○利用者の状態を踏まえた観察と記録 ○ヒヤリ・ハット報告書 ○個別援助計画(訪問・通所・入所、福祉用具貸与等) ○5W1H (2) 報告 ○報告の留意点 ○連絡の留意点 ○相談の留意点 (3) コミュニケーションを促す環境 ○会議 ○情報共有の場 ○ケアカンファレンスの重要性 ○役割の認識の場(利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼)
老化の理解 佐藤正人	2時間	・加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項が理解できている。	2. 高齢者と健康 (1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 ○骨折 ○関節痛 ○筋力の低下と動作・姿勢の変化 (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 ○循環器障害(脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患) ○循環器障害の危険因子と対策 ○誤嚥性肺炎 ○病状の小さな変化に気づく視点 ○高齢者は感染症にかかりやすい ○老年期うつ病症状(強い不安感、焦燥感を背景に「訴え」の多さが全面に出る、うつ病性仮性認知症)